

診療所だより

2019年11月～2020年1月の感染症受診病態

マニラ日本人会付属診療所 菊地 宏久

- 1) インフルエンザ：昨年（2019年）流行時期の8～10月よりは少ないもののA型インフルエンザの患者さんが散発しています。ほとんどの患者さんは「突然の高熱」を主訴に来院しています。予防にはワクチン接種、手洗いが大切です。
- 2) マイコプラズマ呼吸器感染症：当地ではインフルエンザと同様に年間を通して患者発生が認められています。「夜間に咳で眠れない、起きてしまう」、「咳がなかなか治らない、長期間続く」という主訴で来院されている方が多い印象です。予防には手洗いが重要です。
- 3) デング熱：昨年2019年11月に患者数のピークを越えた印象です。乾季には患者数は多くはありませんが、蚊に刺されないように注意しましょう。
- 4) アメーバ性大腸炎：年間を通して患者さんが発症しています。便で感染する病気です。生ものの摂食には十分な注意が必要です。

追記：

新型コロナウイルス呼吸器感染症に関する不安や質問が2020年2月初旬から増加しています。多くの情報や見解が錯綜していま

す。日々最新の医学情報が変更・更新されていますが、現在分かっている予防策で最も重要な方法は「手洗い」です。

皆さまお体大切になさってください。